

令和元年12月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

一般財団法人
北海道国際交流センター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 北海道YMCA 国際人間学 講義

企画実施概要： ①実施内容
・アフリカウガンダでの支援活動について
・SDGsの概要と身近なところから考えるSDGs
②対象者および参加予定人数
英語・コミュニケーション専門学校 1年生 13名

2 出張者氏名 岡田朋子

3 依頼元／主催団体名 公益財団法人 北海道YMCA

4 実施予定日時 令和元年11月6日 (水) 9:00～10:30

5 実施場所 北海道YMCA

6 実施報告 北海道YMCAで英語を専攻する学生に対して、国際協力やNGOの活動について紹介した。最初に国際協力の基盤であるSDGsについて説明し、なぜ国際協力が必要なのかを知ってもらったうえで、身近なところからSDGsについて考えてもらうために、「スマホから考える世界・わたし・SDGs」のワークショップを行った。またアフリカウガンダでインターンの学生が行った活動を紹介し、自分たちでもできる活動を考えてもらった。

7 写真

	
講義の様子	講義の様子

(写真1)

(写真2)

以上

令和元年12月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

認定NPO法人 IVY

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 「新・貿易ゲーム」ワークショップ

企画実施概要: ①実施内容
・IVYから、N連、JPF事業である海外支援、NGO相談員制度について説明
・開発教育ワークショップ「新・貿易ゲーム」の実施。
・日本が実施している国際協力活動の紹介。

②対象者および参加人数
一般市民(小、高、大学生を含む)16人

2 出張者氏名 小笠原 直子

3 依頼元／主催団体名 主催: (公益)岩手県国際交流協会

4 実施予定日時 令和1年11月4日 (月) 10:00~12:00

5 実施場所 いわて県民情報交流センター(アイーナ) 8階(岩手県盛岡市)

6 実施報告
・貿易ゲームをしてみて、実際に国と国との間で結構な貿易格差が出ていることが分かった。情報伝達不足や適正価格で取引されていないものなど平等な条件でやり取りをしていないことも分かり、自分たちができることとして、フェアトレードは大切なんだと再認識した。
・最初は周りの状況が分からず多少混乱したが、開発途上国と先進国の資源、技術の先進性などの状況と対処について、理解が進むことを実感しました。

7 写真



アイスブレイキング
(ビンゴシートを使用し、参加者同士が話す機会をもつ)

(写真1)



貿易ゲームで、他国に交渉している様子

(写真2)

以上

令和元年12月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

認定NPO法人 IVY

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名:** 「持続可能な開発目標」に関する講演
- 企画実施概要:**
- ①実施内容
 - ・IVYから、N連、JPF事業である海外支援、NGO相談員制度の紹介
 - ・持続可能な開発目標について説明(開発教育協会のワークショップ「豊かさと開発」を使用し、豊かな社会とはどんな社会か？を生徒らが考えた。
 - ・幣団体事業(N連、JPF事業)の紹介
 - ②対象者および参加人数
 - 中学1、2年生 150名

2 出張者氏名 小笠原 直子

3 依頼元／主催団体名 八戸市立白銀中学校

4 実施予定日時 令和1年11月7日 (木) 14:35-15:25

5 実施場所 八戸市立白銀中学校(青森県八戸市)

6 実施報告

- ・「豊かな社会」を想像すると、地球環境や自然を残していきたい、自分たちの次の世代が暮らしやすい社会でいてほしいと自分が思っていたことに気づいた。
- ・友達と「豊かな社会」を見比べた時に、違う意見が出ていたのが面白かった。
- ・「世界の子どもたち」「難民」の人たちにとって豊かな社会を考えると、自分たちが選んだカードとは違うカードが出てきて、それぞれの立場によって豊かな社会が違うことを学ぶことができた。

7 写真

	
「自分が思う豊かな社会」をシートの中から3つまで絞り、周りと意見を共有した	「豊かな社会とは何か？」についてやり方を説明

(写真1)

(写真2)

以上

令和元年12月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

認定NPO法人 IVY

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名： 難民を知るワークショップ-ミャンマー避難民編-
- 企画実施概要：
- ①実施内容
 - ・NGO相談員制度の紹介
 - ・ミャンマー避難民の歴史、避難民として逃れるまでの経緯を知る
 - ・避難民キャンプの現状、課題について考える
 - ・弊団体が日本のODAを活用し実施しているミャンマー避難民支援事業(JPF事業)の紹介
 - ②対象者および参加人数
大学生、一般市民 13名

- 2 出張者氏名 安達 三千代
- 3 依頼元／主催団体名 東北学院大学 地域共生推進機構
- 4 実施予定日時 令和1年11月16日 (土) 13:00-15:00
- 5 実施場所 東北学院大学土樋キャンパス 8号館第3会議室 (宮城県仙台市)
- 6 実施報告
- ・開発途上国では上下水道の設備が脆弱だと学んでいたが、難民キャンプの中でトイレや水浴び場の環境が悪いことを初めて知った。難民キャンプの現状についてもっと知りたいと思った。
 - ・難民キャンプ内では食料配布も大切だが、衛生面の整備がより重要だと感じた。
 - ・難民の現状について理解が深まれば、各国の難民に対する受け入れ態勢も変わってくるのではないかと感じた。
 - ・水や食料、衛生面も大切だが、文字が読めないと難民申請をすることもできないので、教育の大切さを改めて感じた。

7 写真

	
「難民の定義」について考える参加者	難民のIDカードについて説明するNGO相談員

(写真1)

(写真2)

以上

令和元年12月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

認定NPO法人 IVY

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 令和元年度「住民ファシリテーション演習B」 特別講義

企画実施概要: ①実施内容
1) ワークショップ「豊かさの開発」
・「豊かさ」ってなんだろう？
・持続可能な開発目標(SDGs)で目指す社会とは？
2) 「東北発・草の根の国際協力」レクチャーと質問・相談

②対象者および参加人数: 弘前大学 人文社会科学部生25人

2 出張者氏名 阿部真理子

3 依頼元／主催団体名 弘前大学 人文社会科

4 実施予定日時 令和1年11月26日 (火) 10:20 ~ 11:50

5 実施場所 会場名弘前大学総合教育棟(住所:青森県弘前市文京町1番地)

6 実施報告
・国際協力に関しては、支援と一言にいてもさまざまな種類があることが分かりました。持続可能で豊かな社会に関しては、人によって何に注目しているのかが異なり、考えが違う人があつまって1つのことを決めるのは大変だと感じました。
・IVYのようなNGOは国内でやりとりをするだけではなくバングラディシュやカンボジア、イラクのような国でも活動しているのは非常に良いと思う。NGOの活動についてもっと知りたいと思ったし、国際協力の活動がもっと増えると良い。
・今回は国際協力について、より詳しいところまで理解できました。機会があればカンボジアなどに行って自分の目で見てみたいと思いました。

7 写真

	
弊団体ODA関連事業紹介	持続可能で豊かな社会に必要なものは何か？ をグループごとに選ぶアクティビティ。

(写真1)

(写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 清里ミーティング2019

企画実施概要：

- ①企画内容
全国の環境教育、環境問題などに関心がある参加者に、「SDGsや開発教育、国際協力」などに関するワークショップを開催した。また、2日間を通して、開発教育や国際協力に関する書籍や資料の説明、相談の受付を行った。
- ②目的
・開発教育ワークショップを通じて、世界の問題や国際協力、SDGsへの理解を促す
・NGOやODA活動、国際協力、開発教育や国際理解教育の教材や資料の紹介
・開発教育、国際協力の実施に向けた相談への対応
- ③対象者および参加人数
全国の環境教育、環境問題に関心がある一般・学生など 200名

2 出張者氏名 岩岡由季子

3 依頼元／主催団体名 公益社団法人日本環境教育フォーラム(JEEF)

4 実施日時 令和元年11月15日～16日 10:00～17:00

5 実施場所 公益財団法人キープ協会 清泉寮(山梨県北杜市高根町清里3545)

6 実施報告 16日にワークショップ「スマホから考える世界・わたし・SDGs」を実施し、中学生や教員、団体職員などが参加した。また、15日～16日両日に、ブース出展を行い、国際協力やSDGs、開発教育などに関する書籍を販売し、相談に対応した。学校や地域の活動でSDGsをテーマとした授業やワークショップを行いたい、SDGsに関する事業を始めたい、といった相談を多数受けた。

7 写真



ブースの様子



ワークショップの様子

(写真1)

(写真2)

以上

令和2年5月21日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
アイキャン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名：「国際交流フェスティバル2019 in TOYAMA」における相談対応サービス

企画実施概要： ①実施内容

企画内容：富山市で行われた「国際交流フェスティバル」で来場者からNGOに関するご質問を受け付け、相談対応を行った。

②対象者および参加人数

来場者 約5,000名

2 出張者氏名 古谷 小夏

3 依頼元／主催団体名 富山市民国際交流協会、JICA北陸

4 実施予定日時 令和1年11月10日（日） 10時30分 ～ 16時30分

5 実施場所 富山駅 南CiCビル（住所：富山県富山市新富町1丁目2-3）

6 実施報告 来場者を対象にNGOでの仕事や活動内容について相談対応を行った。訪れた来場者には学生や外国人も多く、NGOで就職するにあたっての相談やボランティアについての質問を受けた。又、日本国内でのNGOの必要性についても話す機会があり、来場者からは国内での活動等についても質問を頂いた。NGOの活動について知らない方やボランティア経験がない方でも、質問や疑問に思う点について多くの質問をいただき、興味関心を高めていただくことができた。

7 写真



NGOの活動だけでなく、NGO相談員の業務にも興味を持って頂くことができた。他にもたくさんの団体がNGO相談員を担っていることに驚いていた。

（写真1）



国際交流の場だったため、日本人の来場者のかただけだけでなく、富山市に在住の外国人の方々にも日本のNGOの活動を知ってもらうことができた。

（写真2）

以上

2019年12月3日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
関西NGO協議会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名：第21回NGOスタディツアー合同説明会における
NGO相談員ブース出展

企画実施概要：来年の春にスタディツアー実施を予定している全国のNGO約15団体が参加する合同説明会にNGO相談員ブースを出展し、参加者からの質問に対応した。また、スタディツアーに参加を予定している学生や社会人に対して、外務省 海外安全情報配信サービス「たびレジ」について周知をおこない、登録を促した。
参加者は大学生を中心に38名、NGO関係者及び主催者関係者を含め合計58名であった。

2 出張者氏名 坂西卓郎((公財)PHD協会)・高橋美和子((特活)関西NGO協議会)

3 依頼元／主催団体名 龍谷大学ボランティアNPOセンター、
(株)マイチケット、関西NGO協議会

4 実施予定日時 2019年11月30日 (土) 13:00～18:00

5 実施場所 龍谷大学大阪梅田キャンパス(住所:大阪市北区梅田)

6 実施報告 ・参加者アンケートからNGO相談員について以下の評価をいただいた。
「ブースが多すぎるため、はじめてだと絞り切れない、主催するNGOの情報も含め、実際に対面して相談することでSNSやウェブサイトからでは伝わらない情報を受け取ることができた」「途中参加だったので、すごくフリーな会場の雰囲気では何をすればよいか分からず、戸惑ったが、NGO相談員さんが丁寧に分かりやすくこのイベントについて説明してくれたので、すっかり馴染めました。」
・外務省の「たびレジ」について、外務省のHPを見せながら紹介をし、登録方法の説明を行い周知に貢献することができた。

7 写真

	
学生の相談に応じる様子	合同説明会にて、たびレジの説明をする相談員

(写真1)

(写真2)

以上

令和元年 11月 14日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益財団法人PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名：育英西中学校・高等学校での国際協力の講義
- 企画実施概要：①実施内容：国際協力の実態についての講義を実施。現地の実態として、ミャンマーとネパールの農村地域における日々の暮らし、課題や取り組みについて、具体例を示しながら講演を行った。
- ②対象者および参加人数：高校1年生 43名

2 出張者氏名

芳田 弓生希(山本健太郎から変更しました)

3 依頼元／主催団体名

学校法人奈良育英学園 育英西中学校・高等学校

4 実施予定日時

令和1年11月14日 (木) 13:05 ~ 13:50

5 実施場所

奈良育英西中学校・高等学校(奈良市三松4-637-1)

6 実施報告

最初に、NGO相談員制度の説明をし、電話やメールなどでも質問に対応できることを伝えた。

続いて国際協力について、国レベル、NGOレベルでの活動などを紹介しながら概要を話した。また、授業の一環で社会貢献について学んでおり、途上国の現状や課題、などについて話を聞きたいとのことであったので、当会の研修生の出身地域を具体例として紹介し、地域の課題、解決のための取り組みについてお話をした。

最後に質疑応答の時間を取り、学生からは「ネパールにおける男女差別の具体例を教えてください」、「出身地域の課題はあったが、逆に日本と比べて良いところは何か？」などの質問があった。

7 写真

	
ネパールの農村地域の状況や課題などについて、写真を紹介しながら説明をし、生徒からの質問に答える	気軽にNGO相談員制度を活用してもらえるように、生徒たちに呼びかける

(写真1)

(写真2)

以上

令和1年11月15日

外務省国際協力局民間援助連携室

公益財団法人PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 神戸親和女子大学での国際協力と地域との関わりについての講演

企画実施概要： ①実施内容
上記大学総合文化学科の1年生対象の授業「国際文化概論」の授業にて、学生に国際協力の概要と地域との関わりについての講演を行い、研修生の村における国際協力の事例紹介を行う。

②対象者および参加人数
「国際文化概論」履修生 63名

2 出張者氏名 坂西 卓郎

3 依頼元／主催団体名 神戸親和女子大学

4 実施予定日時 令和元年11月15日（金） 9:00 ～ 10:30

5 実施場所 神戸親和女子大学
(兵庫県神戸市北区鈴蘭台北町7-13-1)

6 実施報告 神戸親和女子大学の国際文化概論履修生に国際協力概論をNGO相談員として実施した。同履修生は教員になられる方も多いため、目的を「国際協力の基礎的な理解を促進する」、「国際社会への関心を促し、広く国際的な視野を持ってもらう」とした。

今回は同目的を達成するためにも入門編として、わかりやすい内容、身近な例を取り入れた。特に女子大学ということ踏まえ、世界経済フォーラムのジェンダーギャップ指数を用いて、世界の課題をお伝えした。

授業の反応としては、講義終了後に質問に来る生徒が数名いた。内容は「今後先生になった時に授業で国際協力を取り入れるには」、「国際協力への参加方法、スタディツアー情報」などと主体的な質問があり、手ごたえを感じることができた。教員として羽ばたくこと、そして教育の現場で実践してくれることを期待したい。

7 写真



NGO相談員制度及び外務省との連携について説明しているところ

(写真1)



教室の様子。「国際文化概論」を履修する1年生、約63名

(写真2)

以上

令和1年11月18日

外務省国際協力局民間援助連携室

公益財団法人PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 関西学院高等部での国際協力についての講演

企画実施概要： ①実施内容
スーパーグローバルハイスクールの認可を受ける高校にて、国際協力について講義を行う。具体的には、国際協力概論とアジアの地域コミュニティについて説明を行う。また地域コミュニティというテーマを深めるために当会の研修生にも同行してもらう予定である。
②対象者および参加人数
「ワールドワイドラーニング」履修生 22名、教師4名

2 出張者氏名 坂西 卓郎

3 依頼元／主催団体名 関西学院高等部

4 実施予定日時 令和元年11月18日（月） 10:10～11:35

5 実施場所 関西学院高等部 西宮上ヶ原キャンパス
(兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155)

6 実施報告 関西学院高等部にてスーパーグローバルハイスクールの後継プログラムであるワールドワイドラーニング(以下WWL)にてNGO相談員として講演した。WWLの目的は「イノベティブなグローバル人材を育成するため」という目的に添って、国際協力概論を実施した。

授業の中身としては「グローバル人材」を念頭に置き、一方的な知識のインプットに留まらないように当会研修生とのグループディスカッションを取り入れ、生徒の方が直接国際交流を実施できるようプログラムした。各グループで活発な交流が展開されていた。

また高校生ということで、11月30日に行われるスタディツアー合同説明会、12月15日のワンワールドフェスティバルFor Youthの告知も行った。教員の方、生徒の方ともに興味を持ってきて、今後への繋がりが感じることができた。今後学生たちはカンボジアやオーストラリアに旅立つそうだ。グローバル人材としての成長を期待したい。

7 写真



NGO相談員制度及び外務省との連携について説明しているところ

(写真1)



教室の様子。「ワールドワイドラーニング」を履修する1年生、約22名

(写真2)

以上

令和2年5月21日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益社団法人
日本国際民間協力会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名：府民交流フェスタ
- 企画実施概要：①企画内容：本企画では京都府国際センターが主導となり、「クイズで知ろう多文化共生と国際協力」と題すブースを設け、国際協力団体が多文化共生と国際協力の啓発活動を行う。NGO相談員ブースを出展し、国際協力に関する相談質問に対応する予定である。
- ②対象者および参加予定人数：700人（来場者数は、12,000人）

- 2 出張者氏名 北垣 健太
- 3 依頼元／主催団体名 きょうと地域創生府民会議
- 4 実施予定日時 令和1年11月3日 （日） 10:00～16:00
- 5 実施場所 京都府立植物園（京都府京都市）
- 6 実施報告
- ・イベント参加者は、砂漠の国で暑いと思っていたヨルダンに雪が降るほど寒い冬期があることに驚かされていた。
- ・シリア難民の暮らしや冬期の生活の厳しさについて、写真を見ながら説明したため、イメージしやすく分かりやすいとの声に参加者から聞かれた。
- ・来場者の家族は、京都に難民支援など国際協力を行う団体があることを初めて知った、と話した。

7 写真

	
イベント出展ブースの様子(右手奥がNGO相談員のスペース)	参加者にNGOの活動について説明する様子

(写真1)

(写真2)

以上

令和2年5月21日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益社団法人
日本国際民間協力会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: Doshisha SDGs Creative Award 平和プロジェクト

企画実施概要: ①実施内容 同志社中学校3年生の英語の授業の一環で、平和について英語で考える機会を設けたため、国際協力NGOの講演を実施した。

②対象者および参加人数 中学3年生48名

2 出張者氏名 大豊盛重

3 依頼元／主催団体名 同志社中学校

4 実施予定日時 令和元年11月5日（火） 16:00～17:30

5 実施場所 同志社中学校（京都府京都市）

6 実施報告 世界の難民問題について、もっと知りたくなった。

NGOの活動について、もっと知りたくなった。

京都にこんなNGOがあるとは知らなかったなので、勉強になった。

7 写真



世界の難民問題について解説する大豊

（写真1）



講演時に関心を持たれた生徒が、後日、11月15日に事務所を訪れ、難民問題について、さらに理解を深めた

（写真2）

以上

令和2年5月21日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益社団法人
日本国際民間協力会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 第7回清水寺で世界を語る

企画実施概要： ①実施内容 世界遺産でもある清水寺にて、世界で起きている社会問題について考えるイベント。毎回、SDGsのゴールから、テーマを選び開催している。NGO相談員のブースと国際協力のキャリアについて講演を行う。
②対象者および参加人数 一般市民、観光客ブース来場者50人、講演10人

2 出張者氏名 大豊盛重

3 依頼元／主催団体名 清水寺で世界を語る実行委員会

4 実施予定日時 令和元年11月9日（土） 10:00～16:00

5 実施場所 清水寺（京都府京都市）

6 実施報告 実際にシリア難民の支援をしているNGOスタッフの話を聞けて良かった

シリア難民の冬の暮らしぶりについて、話が聞けて良かった。

京都のNGOの話が聞けて良かった。

7 写真



年間を通じて観光客が多い清水寺で、開催する国際協力イベント

（写真1）



NGO相談員ブースにもたくさんの訪問者があった。

（写真2）

以上

令和2年5月21日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益社団法人
日本国際民間協力会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： リノベーションEXPO京都2019

企画実施概要： ①企画内容：一般社団法人リノベーション協議会の主催、京都市・京都市教育委員会・精華大学の後援で「リノベーションを楽しんで頂くお祭り」において多文化共生と国際協力の啓発活動を行う。NGO相談員ブースを出展し、国際協力に関する相談質問に対応した。

②来場者数：約7,000人

2 出張者氏名 高山 勝

3 依頼元／主催団体名 一般社団法人リノベーション協議会

4 実施予定日時 2019/11/9(土) 各々10:00-17:00
11/10(日)

5 実施場所 京都市国際交流会館

6 実施報告

- ・イベント参加者は、ヨルダンに住むシリア難民の女性が作った刺繍の商品を観て、彼女たちの器用で丁寧な出来上がりに中東の女性たちの文化を感じ取っていた。
- ・アフリカにおけるプロジェクトで導入した尿尿分離型ドライトイレの機能に関して、下水処理施設の無い地域でも衛生的に尿尿を収納できることを知って頂き、多くの方々の賛同を得ることができた。
- ・シリア難民の厳しい生活環境について改めて知って頂き、募金を頂戴することができた。

7 写真



イベント出展ブースの様子(右手奥がNGO相談員のスペース)



参加者にNGOの活動について説明する様子

(写真1)

(写真2)

以上

令和2年5月21日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益社団法人
日本国際民間協力会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名: 国際協力ひろば「シリアの今とむかし、これから」
- 企画実施概要:
- ①企画内容:シリアに関心を持つ市民に対してシリア支援の内容や支援方法についての理解を深めるため講演する。
 - ②目的:国際的な人道支援(シリア難民支援)について啓発する。
 - ③対象者および参加予定人数:約40名

- 2 出張者氏名 北垣 健太
- 3 依頼元／主催団体名 JICA関西、(公財)大阪国際交流センター
- 4 実施予定日時 令和1年11月23日 (土) 13:00-18:00
- 5 実施場所 大阪国際交流センター(大阪府大阪市)
- 6 実施報告
- ・関西の団体で1億円規模の難民支援事業を行っているNGOがあることを初めて知り驚かれた参加者が多数いた。
 - ・新聞やテレビでは知ることができない具体的な難民支援の活動内容や支援の様子を初めて知ることができた、という感想が聞かれた。
 - ・参加者の一人は、シリア難民と、シリア難民を受け入れている国の双方への支援の必要性について理解することができたと話した。

7 写真



▲会場内の様子

(写真1)



▲シリア難民支援事業について説明

(写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 「2019広島国際フェスタ」での相談対応

企画実施概要： ①実施内容
広島県内最大級の国際交流のイベントの「団体ブース」において開場時間通して3名体制で来場者からの国際協力やODA、NGOに関する質問・相談に対応した。

②対応者数
ブース来場者 計200名

2 出張者氏名 清水信子

3依頼元／主催団体名 2019広島国際フェスタ実行委員会

4 実施日時 令和1年11月17日（日） 9:00～18:00(うち昼休憩1時間)

5 実施場所 広島国際会議場（住所：広島県広島市中区中島町1-5）

6 実施報告

ブースでは、NGO相談員ポスターを張り、展示したネパールの水がめ、ミャンマーの水運び天秤棒を通して、NGOによる国際協力活動、開発支援活動の実情を説明した。

ブース前にミャンマーで実際に使用されている天秤棒の水汲み体験をしてもらい、ミャンマーでの水についての課題をはじめSDG'sについての関心を促した。

親子連れとシルバー世代の来場者が特に多かった。

高校生以下の来場者は水がめの存在自体を知らなかった。親御さんが各家庭に蛇口があることは普通ではなく、水がすぐに手に入らない国が沢山あることを伝えると、お子さんは非常に驚いていた。

隠岐の島市役所に勤務されている保健師の方から職場でも国際協力への意識を高めたいと要請があり、NGO相談員のチラシ20部を職場の方へ配布して下さると言ってくださった。

7 写真



(写真1)



(写真2)

以上

令和元年12月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
えひめグローバルネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 吉田公民館国際交流カフェ

企画実施概要： ①実施内容
国際交流に興味のある一般の方及びNGO関係者に、四国のNGO活動を紹介するとともに具体的な国際協力活動の事例を紹介する。また、国際協力や開発教育についてより詳しく学ぶために、NGO相談員制度を活用することを呼びかけ、SDGsについても普及啓発する機会とする。
②対象者および参加人数
国際交流およびNGO協力活動に興味のある一般の方及びNGO関係者 30名

2 出張者氏名 小松 柊成

3 依頼元／主催団体名 ピースメーカーUWAJIMA

4 実施予定日時 令和元年11月24日（日） 13:30～15:30

5 実施場所 吉田公民館（愛媛県宇和島市）

6 実施報告 ①アフリカの国や生活について考える機会になってよかった。SDGsについて学ぶ機会になって良かった。

②発展途上国の支援について知ることができて勉強になった。お手伝いできることがあればやってみたい。NGO相談員という制度を知ることができてよかった。

③外務省NGO相談員という制度について知ることができ、国際交流や国際協力についての相談や出張サービスなど、制度を活用したいと思った。

7 写真

	
講演の様子	NGO相談員制度について説明

(写真1)

(写真2)

以上

令和2年6月12日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
えひめグローバルネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 香川県立農業大学校

企画実施概要： ①実施内容
四国内の国際協力活動の取り組みを進めている特定非営利活動法人や民間団体の活動の現状と課題について報告し、国際協力の取り組みを紹介するとともに、国際協力への支援を教育関係者に呼びかけた。取り組み紹介では、四国のNGO活動やフェアトレードに関する動きについて紹介するとともに相談対応を行った。
②対象者および参加人数
担い手養成科1年生 34名

2 出張者氏名 菅 未帆

3 依頼元／主催団体名 香川県立農業大学校

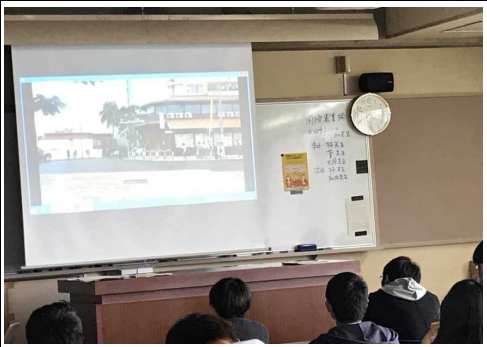
4 実施予定日時 令和1年11月26日（火） 8:30 ～ 12:00

5 実施場所 香川県立農業大学校

6 実施報告

- ・ 海外での諸問題について学んだ。海外にはとても深刻で乗り越えなければならない問題があって、自分にもできることがあればしたいと思った。
- ・ 今回の授業で、海外の環境問題や行政的問題、医療問題などを知る事ができ、大変参考になった。
- ・ 今回の授業を聞いて感じたことは、海外には問題がたくさんあり、解決策を見つけるのは本当に難しいと感じた。

7 写真

	
外務省NGO相談員について説明	NGOの海外での活動紹介

(写真1)

(写真2)

以上